

## 平和宣言で参考にした被爆体験記を書かれた御本人及びその御家族のコメント

### ●当時 16 歳の被爆者：間野 絢子さん（※既にお亡くなりになられています。）

（該当箇所）

男女の区別もつかぬ遺体であふれかえっていたこの広島で、体中にガラスの破片が突き刺さる傷を負いながらも、自らの手により父を茶毘に付した被爆者

#### 【間野さんの御令孫からのコメント】

◎ 祖母の遺した被爆体験記が、今年の平和宣言の参考にされたことについて、天国の祖母もきっと喜んでいると思います。

※ 御令孫（間野 洋平さん）への取材は可能

### ●当時 17 歳の被爆者：佐藤 泰子さん（※既にお亡くなりになられています。）

（該当箇所）

「死んでもいいから水を飲ませて下さい！」と声を振り絞る少女に水をあげなかったことを悔やみ、核兵器廃絶を叫び続けることが原爆犠牲者へのせめてもの償いだと自分に言い聞かせる被爆者

#### 【佐藤さんの御令嬢からのコメント】

◎ 人が何を観て、聴いて、自覚し、判断していくかが問われている時代だと思います。

◎ 母が遺した被爆体験記を遺族として継承していく大切さを強く感じました。

※ 御令嬢（小山 眞保子<sup>まほこ</sup>さん）への取材は可能

### ●当時 10 歳の被爆者：岡本 泰枝さん

（該当箇所）

原爆に遭っていることを理由に相手の親から結婚を反対され、独身のまま生涯を終えた被爆者

※ 被爆者である弟のことについて言及した内容

#### 【岡本さんからのコメント】

◎ 原爆により親戚も亡くなり、頼るところがない中で必死に生きてきました。ここまで生きていることが奇跡と感じています。

◎ 未だに世界中で紛争等が続いていますが、平和な世界を実現するためには、私たち市民一人一人が気を付けていく必要があると感じています。平和が一番です。

※ 御本人への取材は不可